「歩くまち・京都」
公共交通の活性化を通した「交通まちづくり」

（社）システム科学研究所　　東　徹

京都の交通まちづくりが「どのように始められた」のか？

1. 「交通まちづくり」の**重要性を巡る議論**が京都にて長年続けられる
2. 「交通まちづくり」を重要施策とする**市長**の誕生
3. 歩くまち京都**推進室**の設置
4. 「歩くまち・京都」総合交通**戦略**の策定
5. 「歩くまち・京都」総合交通戦略の**マネジメント会議**の設置
6. **さまざまな「交通まちづくり」施策が展開**され、モーダルシフトが京都市全域で生じ始める

京都の交通まちづくりが「どう進められたか」か？

1. 「歩くまち・京都」憲章の策定とその広報
2. マネジメント会議におけるメンバー全員の意識の共有
3. ラジオ番組を通した、幅広い呼びかけ
4. アンケートを通じた住民コミュニケーション
5. さまざまな人々に対する働きかけ（転入者、学校など）
6. 公共交通サービス改善のための共同プロジェクト
7. すべての主たる交通事業者による共同プロジェクト
8. 新規路線の整備

「交通まちづくり」の重要性を巡る議論が京都にて長年続けられる

「歩くまち・京都」とは？　京都市基本計画（平成13年1月）

- 歴史文化資産や自然環境と調和した
  歩く魅力があるまち
- だれもが歩きたくなるような安全・快適な
  交通環境が整ったまち
- 生活目的が身近な地域で**歩いて果たせる**まち
- **来訪者**にとっても歩くことによって
  その価値をより深く楽しむことができるまち

「交通まちづくり」を重要施策とする市長の誕生

「歩くまち・京都」憲章

- わたくしたちの京都は、長い歴史の中で、先人から受け継いだ歴史、伝統を守り育てながら、だれもが安心して快適に歩くことができるまちをつくりあげてきました。
- 京都のまちにふさわしい移動の方法は、様々な問題を抱えるクルマではなく、自分の力で、時に人の助けを借りながら人々が“歩く”という移動、そして、バスや鉄道などの公共交通や、車椅子やベビーカーを利用する人々の移動です。

「歩くまち・京都」憲章（平成22年1月23日制定）

「歩くまち・京都」憲章

わたしたちの京都では、市民一人ひとりは、

1　健康で、人と環境にやさしい、歩いて楽しい暮らしを大切にします。

そして、市民と行政が一体となって、

1　だれもが歩いて出かけたくなる道路空間と公共交通を整え、賑わいあるまちを創ります。

1　京都を訪れるすべての人が、歩く魅力を満喫できるようにします。

平成22年1月23日、「歩くまち・京都」憲章は、市民・観光客の皆様、そして事業者、行政が一体となって「人が主役の魅力あるまちづくり」を進めるための事柄を明確にするために制定しました。この憲章は、市民委員、大学の専門家や有識者、事業者、行政が参画する審議会や検討部会、400人の市民の皆様が集まったシンポジウム、そして、14,700人を対象としたアンケート等を通じて市民の皆様と共に議論を重ねることにより作成されたものです。

京都市都市計画局歩くまち京都推進室

京都市印刷物第212223号

「歩くまち・京都」総合交通戦略の策定

- 「歩くまち・京都」総合交通戦略の目標を実現するために、次の「3つの取組み」を強力に推進していきます。

総合交通戦略の3つの柱

「歩くまち・京都」総合交通戦略の目標

- 「歩くまち・京都」とは、使いやすい公共交通と歩く魅力にあふれ、人々が「歩く暮らし」を大切にしている、そんな“まち”を意味します。
- そのために、非「自動車」分担率を現状の72％から80％以上に向上し、脱「クルマ中心」社会を目指します。

公共交通利用者数

- 平成１８年を1.0とした鉄道とバスの利用者数も増加傾向で推移しています。

鉄　道

バ　ス

今日のお話

- 交通政策監と歩くまち京都推進室の設置
- コア会議、町家会議
- コピーライターによるキャッチフレーズ会議
- 洛中洛外図風の将来図、イメージ動画作成
- 「京なか歩く」のラック
- 京都都市圏MM協議会

京都のまちが、
変わります。

リーフレットなどのデザイン

「京なか歩く」のラック

- 公共交通の情報を提供するフリーペーパーを京都市は費用を負担せずに発行
- フリーペーパーを配架するラックがない
- フリーペーパー発行者は、ラックの使用料を払っても良いが交通局は受け取れない

↓

- 協力事業者にラックを購入・設置してもらい、使用料で償還することにした

ご静聴ありがとうございました